

# 自己評価結果報告書

2022年8月1日

報告者氏名

横山雅之

## ①全体評価

新型コロナウイルスにより感染予防のため、方法を変えながら家庭や地域の保健士・療育施設・学校などと連携していき共通理解を深めている。

## ②学校評価の個別評価

### 1 教育課程・指導

園児一人一人の人格を尊重し、園の状況を踏まえた教育保育目標等が設定されている。

### 2 保健管理

法定の学校保健計画の制定。乳幼児の病気やケガ等の情報提供が行われている。  
昨年度に続き、毎日の体温記録・手洗い・消毒等徹底管理されている。

### 3 安全管理

毎月の避難訓練等を通して、全職員・園児の安全対応能力の向上を図るため、取り組んでいる。

### 4 特別支援教育

特別な支援が必要な乳幼児のために、支援施設や学校との交流が図られている。  
また、保護者の思いに寄り添いながら、発達に即した指導がなされている。

### 5 組織運営

明確な運営と、園長・副園長・教頭・主幹保育教諭という基本体制が整っており信頼を得ている。

### 6 研修(資質向上の取組)

園内研修を毎月行い、外部のリモート研修も取り入れながら保育の質を高める努力をしている。

### 7 教育目標・学校評価

園の状況を踏まえ、教育保育の目標を設定している。

### 8 情報提供

ホームページ・公式ライン(園だより等)クラスだより・玄関でのお知らせボードなどで積極的に情報提供を行っている。

緊急時にはモバイルメールによる一斉配信を行う。

### 9 保護者・地域住民との連携

地域の季節行事に参加

### 10 子育て支援

未入園児の子育て支援を月3~4回行っている。

### 11 預かり保育

事前に保護者と子どもの様子や生活面での連携を取り、子どもが安心して過ごせるように、必要に応じて受け入れをしている。

### 12 教育環境整備

年齢に合わせた遊具・用具等の維持管理、また生活環境の整備に努めている。

## ③その他必要な評価

### その他1 食事に関する安全事故防止

発達に合わせた食材の提供と援助を適切に行っている。

### その他2 食中毒や感染の予防

感染症に関する啓発(チラシの配布)・マニュアルの確認は年間を通して職員会で確認している。

### その他3

## ④課題と検討

コロナ対策として、クラス交流や保護者参加行事・外部との交流を縮小しています。しかし、子どもたちの育ちの中で欠かせないものもあるはずと考え、ウィズコロナの時代にあった、行事のあり方や目的を見直そうと考えています。年間を通した年齢ごと、季節ごとの教育・保育カリキュラムを明確にして、園全体で取り組みを行います。